別 紙 1

第２回記念式典検討部会での主な意見

項目		内容
開催計画	趣旨	情報発信の考え方について、わかりやすく記載をお願いしたい。
開催内容	アトラクション	アトラクションについて、子どもたちが出演する芝居から、会場全体を使った炭坑節総踊りに繋げる形にしてはどうか。また、神輿を登場させてはどうか。
	式次第	第１部を式典として１時間程度、第２部を基調講演等の大規模な催しとして２時間程度とし、全体の行程を３時間程度にまとめてはどうか。
	来賓・招待者 基調講演	文化大使や観光大使等、著名人を招待してはどうか。
		県立大学の学生が山本作兵衛氏について学んだこと、研究したことの発表の場を設けてはどうか。
		山本作兵衛氏だけではなく、日本の近代化に大きく貢献した炭鉱文化とその労働者に対する祝福と感謝を表す式典にしてはどうか。
		日本初のことであるので、皇室や宮内庁からメッセージを頂いてはどうか。また国旗掲揚や国歌斉唱を行ってはどうか。
その他	会場レイアウト	山本作兵衛氏への祝福と感謝の懸垂幕を設置してはどうか。また、懸垂幕は児童・生徒の作品として作成してはどうか。
		子どもたちに対し、山本作兵衛氏のマスコットキャラクターの図案を募集してはどうか。
		当日の従事者、関係者が着るハッピを作成してはどうか。
		世界記憶遺産や山本作兵衛氏について、どのような学習機会を作り、教育へ浸透させていくかといったテーマついては、保存・活用の検討部会に預けるべきではないか。
		記念誌を発行してはどうか。